



音羽通信

令和6年2月6日 第11号
文京区立音羽中学校
文京区大塚1丁目9番24号
校長 齊藤 正富

共に学びを

教務主任 矢野尾 真子

立春を迎えると暦の上では春になったということですが、まだ肌を切るような寒さの日が続いています。我が家の犬も身を縮めるように丸くなっています。

3学期と言えば1年のまとめの時期であり、4月からの新年度の始まりに向けて様々な準備の時期でもあります。3年生は本格的な進路決定のシーズンと同時に、卒業に向けた取り組みも始めています。2年生はTGGと鎌倉校外学習を終え、1年生は近く区内巡りを実施する予定です。また、今月末には今年度最後の定期考査、3月初めには展示発表会を控えています。

先月26日には令和4年度から2年間に渡り文京区の教育研究協力校として音羽中教職員「チーム音羽」が取り組んできた「主体的・対話的で深い学び」についての研究発表会が行われました。特に、「学び合い・認め合い」のテーマを授業や行事など生徒の様々な活動の中で取り入れることを強く意識し取り組んできました。研究発表会当日は、1・2年生の授業公開とそのあとに研究発表会を行いました。区内・区外から200人以上の先生方にご参加いただきました。授業公開では、たくさんの大人たちの視線を感じる中でも、音羽中生がのびのびと主体的に学ぶ姿が見られました。時には大人もハッとさせられるような視点から意見を述べる生徒や、楽しそうに目を輝かせて実験やリコーダー練習に取り組む生徒もいました。私が担当した1年英語の授業でも、表情豊かに楽しく仲間とスピーチ練習する様子が見られました。また、研究発表会は通常教職員だけで研修の成果をご報告するところを、本校では学びの中心である生徒たちを主役とし、1年生の代表生徒から直接学びの成果や課題について語ってもらいました。たくさんの先生方を前に、舞台上でスポットライトを浴びながら堂々とした発表は、他校の先生方には新鮮に映り、生徒たちの学びの成果を実感していただけたようでした。後日いただいた多くの感想からも、音羽中の生徒たちが生き生きと学ぶ姿から主体的・対話的で深い学びを実践していることを感じていただけたようです。改めて、私たちの研修が最終的に生徒の学びに繋がるものでなければならぬことを再認識しました。これからも生徒・教職員の「学び合い・認め合い」は続いていきます。そのために私たち教職員はさらに研鑽を積んでいきたいと思えます。

さて、話は戻りますが、私は教務主任として、1年間の振り返りやまとめをすると同時に、4月からの新年度の準備も進めております。生徒たちの確かな学びの環境や充実した活動の場と、保護者の皆様と連携し情報共有できる機会を年間行事の中に作っていききたいと思えます。

これからも生徒・保護者・地域・教職員が一つになり、より魅力的な音羽中にしていけたらと思えます。

◆ ◇ ◆ 2月の行事予定 ◇ ◆ ◇

1日(木) 安全指導	21日(水) 都立一次・分割前期入試 校内研修会
2日(金) 2年校外学習・都立推薦発表	22日(木) テスト直前質問ウィーク終 1・2年ESAT-J
5日(月) 全校朝会・避難訓練(不審者対応) 専門委員会・中央委員会	26日(月)～28日(水) 定期考査IV
9日(金) 1年校外学習	26日(月) 学校運営協議会 学校関係者評価委員会
16日(金) 入学説明会	
19日(月) テスト直前質問ウィーク始	